



～ティーンズ向け図書館便り～

# わんBOOKS

「わん」には[わん丸君]と[ONE](特別な1冊)の意味が込められてるよ♪

シンエイライフ  
犬山ライブラリー  
(犬山市立図書館)  
2025年  
7-8月号  
No. 92



## 2025年は“昭和100年”

純喫茶・クリームソーダ  
アナログレコード・カセットテープ  
フィルムカメラ・使い捨てカメラ  
銭湯めぐり  
昭和歌謡とカラオケ  
レトロファッション

昭和って  
こんなイメージ??



### 『純喫茶とあまいもの 名古屋編』 編 難波 里奈 || 著 誠文堂新光社

トースト、クリームソーダ、パフェ、ケーキ、甘ロパスタ…。独自の喫茶文化を育む名古屋とその周辺にある、全30店の純喫茶とあまいものを紹介します。マッチコレクションなどのコラムも掲載。データ:2023年7月現在。



### 『すごい銭湯100 行きたい!残したい!癒されたい!』 イカロス出版

レトロ感がすごい、アートがすごい、ユニークさがすごい、湯がすごい、建築がすごい…。いま絶対訪れたい日本各地のおすすめ銭湯を、カテゴリー別に紹介する。データ:2024年8月現在。



### 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 汐見 夏衛 || 著 スターツ出版

家を飛び出した中2の百合。目をさますと、そこは戦時中の日本だった。偶然通りかかった彰に助けられた百合は、彼に惹かれていくが、彼は特攻隊員で…。2023年12月公開映画の原作。書き下ろし番外編も収録する。



### 『とんび』 重松 清 || 著 角川書店

昭和37年、ヤスに長男が生まれた。幼い頃に親と離別したヤスにとって、それはようやく手に入れたぬくもりだった。しかしその幸福は、突然の悲劇によって打ち砕かれてしまう。我が子の幸せを願う父親の姿を描いた長編小説。



### 『昭和歌謡出る単1008語 歌詞を愛して、情緒を感じて』 田中 稲 || 著 誠文堂新光社

「エトランゼ」「しのび逢い」「摩天楼」…。昭和歌謡の歌詞に出てくる、時代と心が宿る言葉1008語を、簡潔な解説とともに収録する。昭和歌謡10の考察、昭和叙情絵師・上村一夫の作品16点も掲載。



# 新刊本 おすすめ



## 『あいだのわたしたち』

ユリア ラビノヴィチ || 作 岩波書店



難民滞在施設をでて、新生活を始めたマディーナは、家族や親友、恋人との関係に悩みながらも、医者になる夢を持って奮闘中。だが、周囲には外国人に対して無理解で差別的な目を向ける人たちが増え…。『あいだのわたし』続編。

## 『仕事をめぐる愛と冒険』

小手鞠 るい || 作 文研出版



仕事って、なんだろう。「事」に「仕える」って、どういうこと？ みんな、なぜ、仕事をするの？ 誰のために仕事をするの？ 仕事をめぐる愛と冒険の物語。「お金たちの愛と冒険」の姉妹作。

## 『妖鳥魔獣物語』

廣嶋 玲子 || 作 小峰書店



さらさら、こすれる鱗の音。かちかち、ふれあう牙の音。闇夜の獣は不敵に笑い、角持つ踊り子は月にほほえむ。妖鳥の翼、魔獣の爪に囚われるのは、さて、だれになるでしょう？ 動物にまつわる不気味で不思議な物語9篇を収録。

文：(株)図書館流通センター

夏休み期間（7月16日～8月31日）は  
開館時間が変わります

### ●開館時間

午前9時～午後6時

### ●学習室利用時間

午前9時～午後5時45分

## 図書館の使い方



### ●開いている時間

シンエイライフ犬山ライブラリー（犬山市立図書館）

午前10時～午後6時

楽田ふれあい図書館

午前10時30分～午後5時

### ●お休みの日

シンエイライフ犬山ライブラリー（犬山市立図書館）

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は次の平日が休館）

楽田ふれあい図書館

毎週月～金曜日

シンエイライフ犬山ライブラリー（犬山市立図書館）

楽田ふれあい図書館共通

・年末年始（12月28日～1月3日）

・館内特別整理期間（9月16日～29日）

### ●図書館カードを作るには

身分証明書（マイナンバーカード、健康保険証等）を持って来てください。

### ●借りられる点数：10点

### ●借りられる日数：15日間

### ●2F学習室の利用：午前10時から午後5時45分

開放日は座席予約システムで確認して下さい。

### ★学習室の利用には図書館カードが必要です。

※図書館カードには有効期限があり、更新手続きには住所・氏名が確認できるもの（マイナンバーカード、健康保険証等）が必要です。来館時にご持参ください

座席予約システム

犬山市 HP

公式 Facebook



## おすすめ本を紹介し ます

今年には1945年8月15日の終戦から  
80年の節目の年です。戦争を振り返り、  
平和の尊さをあらためて考えてみましょう。



## 『少年が見た戦争』

宮川 健郎 / 編 汐文社



戦争を見つめた作家たちの詩、児童文学、小説  
をまとめたアンソロジー。

茨木のり子の詩「わたしが一番きれいだったとき」、  
戦うものの内的感情を描いた宮沢賢治の  
「鳥の北斗七星」など8編を収録する。

文：(株)図書館流通センター